

身体的フレイルを有する食道癌術後患者における術後入院期間に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 10 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに当院で食道癌に対して手術を施行された方

2. 研究の概要

食道癌に対する手術は消化器癌のなかでも高度侵襲手術の一つに分類されており、術後合併症によって入院期間が長期化する可能性が高いとされています。特に食道癌の周術期例は身体的フレイル特性を有する方が多く、入院期間が長期化することが報告されています。

実際の現場においても、身体的なフレイルを有する方は術後の離床に難渋することがあり、動作能力の低下を伴うことで入院期間が長期化しやすいことがあります。また、入院期間の延長は治療の進行や予後に影響を与えることが懸念されます。したがって、本研究では身体的フレイル特性を有する食道癌患者の術後入院期間に関連する因子を検討し、身体的フレイルを有する患者の術後管理の最適化を図り、予後の改善に貢献することを目的としています。

研究期間：総長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日まで

研究目的： 身体的フレイル特性を有する食道癌患者の術後入院期間に関連する因子を明らかにすることです。

研究方法： 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、術式、アプローチ、背景因子、治療方法、身体機能などを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病名、TNM 分類、血液データ、併存疾患、呼吸機能検査、手術情報、術後合併症、身体機能、術後の再入院等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター リハビリテーション科 研究責任者 高尾 浩資

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上